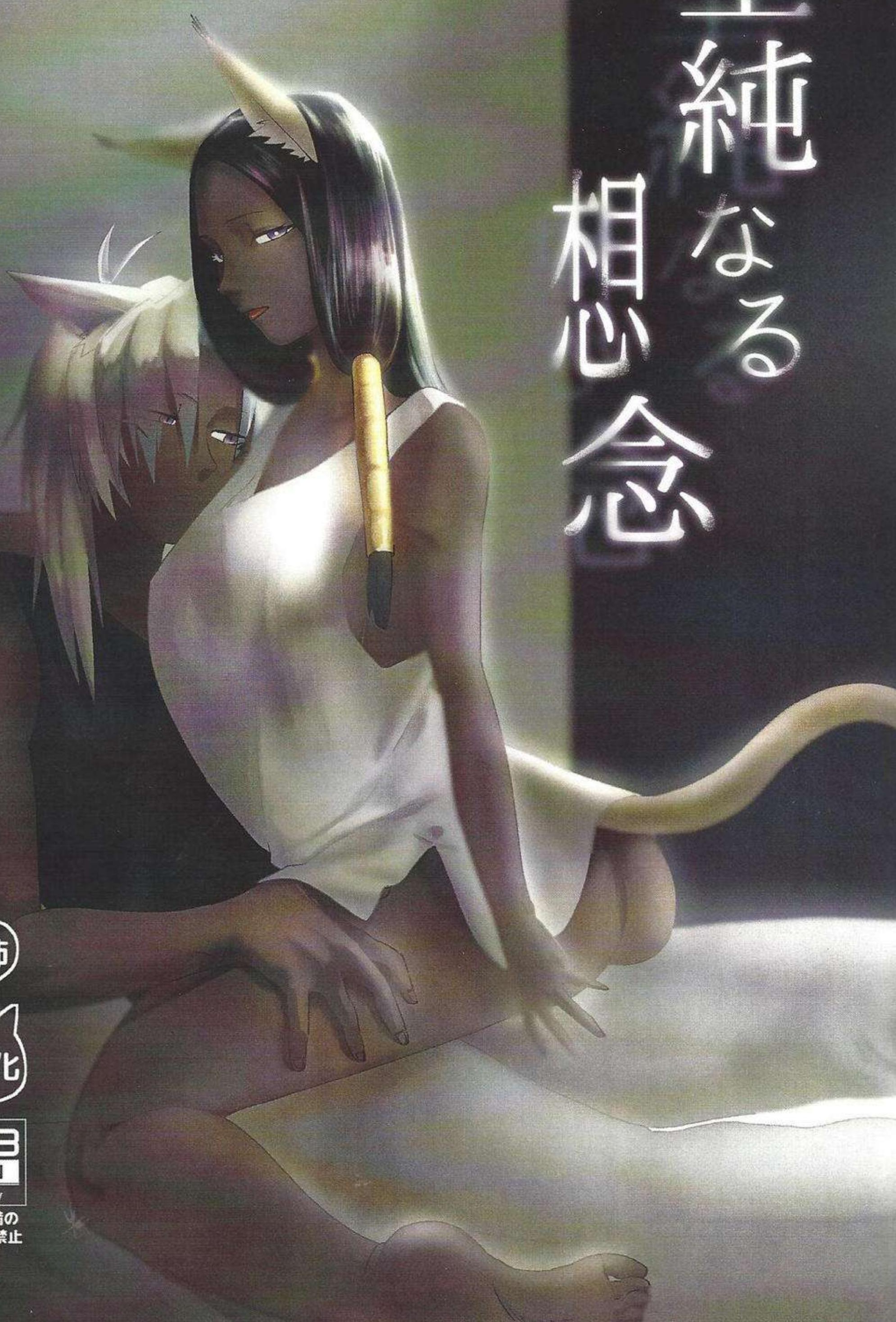


至  
純  
な  
る  
想  
心



弟姉

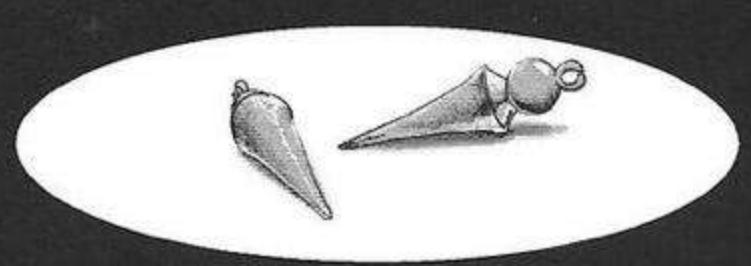
獣人化

R18  
DOJIN  
Adult only

18歳未満の  
購入・閲覧禁止

この漫画はイシュタール家の姉弟が獣人化しえっちしています

時系列は王様が冥界に還った後のお話ですが  
細かいことは気にしてはいけない内容になるため  
時系列はあまり気にしないで読んでください。



僕の姉さんは

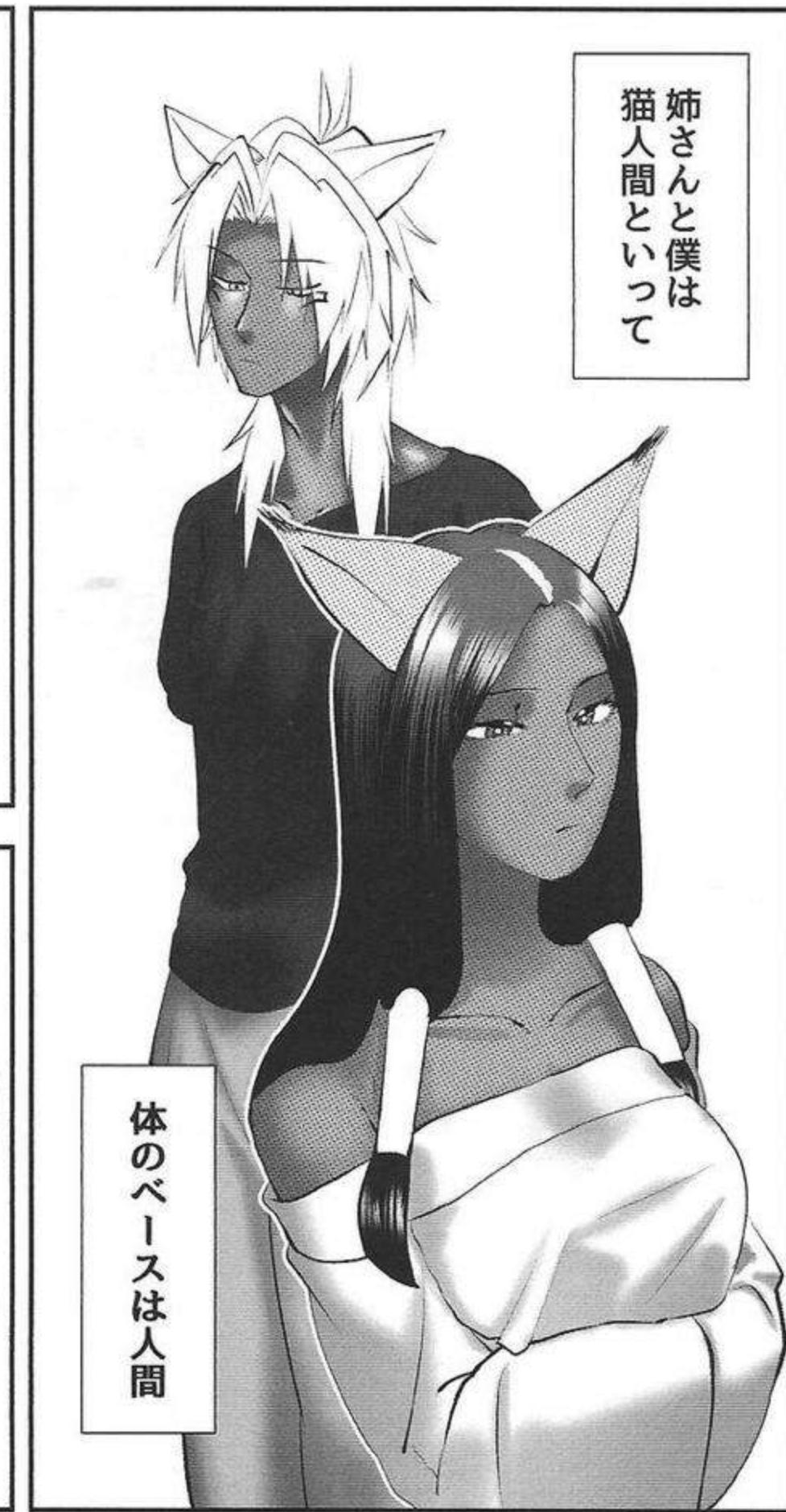
才色兼備で  
奥ゆかしさの中に  
強さを隠し持つ  
自慢の姉さんだ



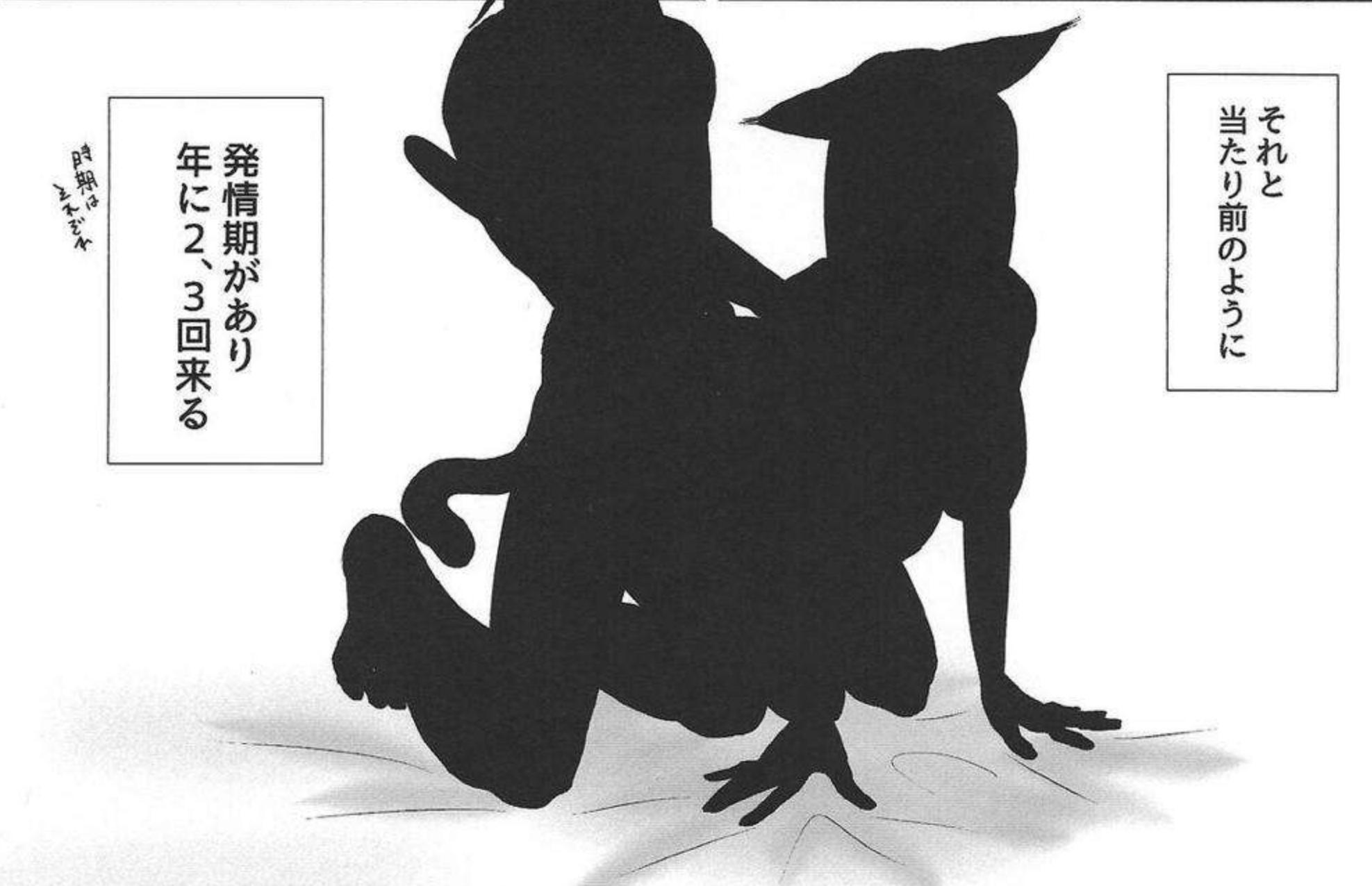
耳が猫耳



+尻尾があること以外  
見た目の大差はない



体のベースは人間



発情期があり  
年に2、3回来る

きよ  
月経

それと  
当たり前のように



コノハノワシ  
星まで部屋から  
出てこないのは  
おかしい

今日は休みだと  
聞いていたが

←夏休み中

ごめんなさい  
マリク  
本日は不要です…

いいえ

大丈夫よ  
何も  
心配はいりません

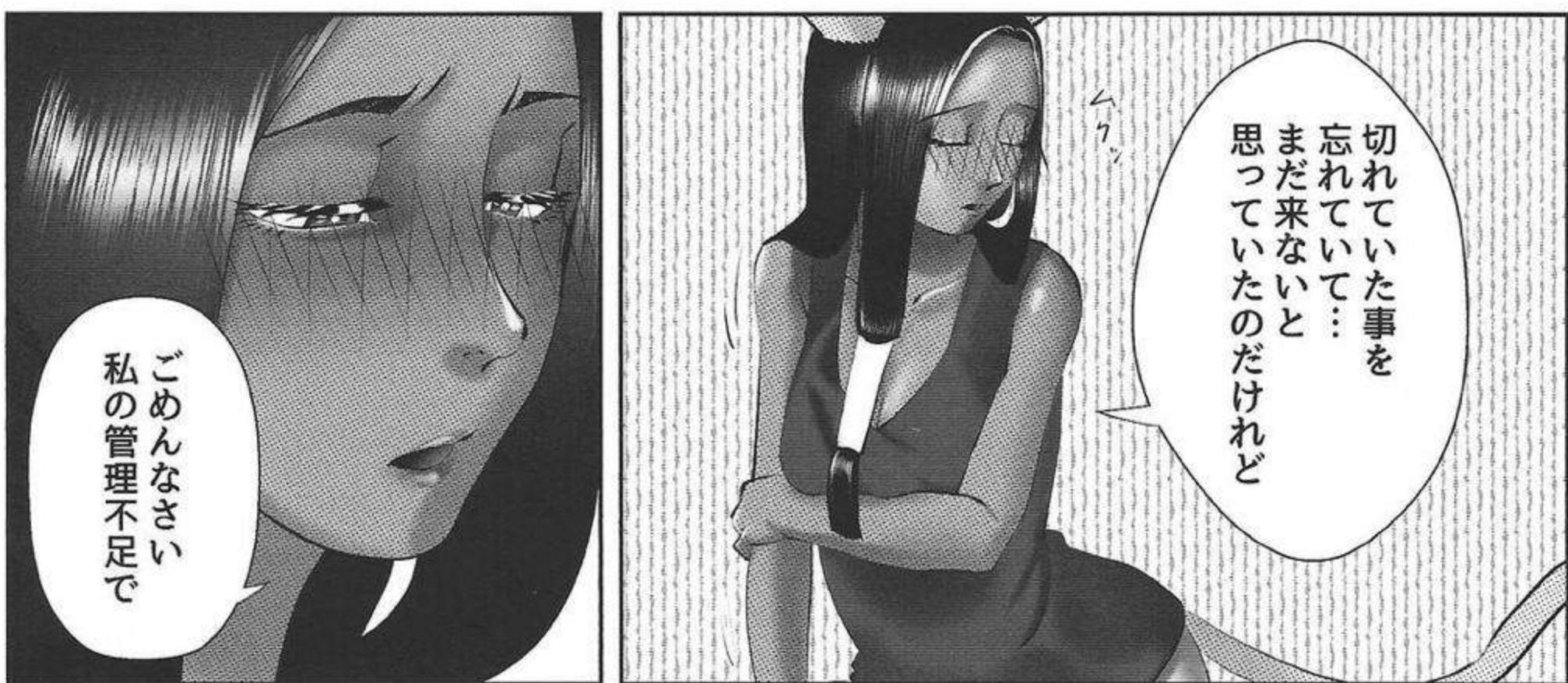
風邪でも引いたの?  
病院に行つたほうが…

ご飯の用意できただけど…  
食べないの?

姉さん













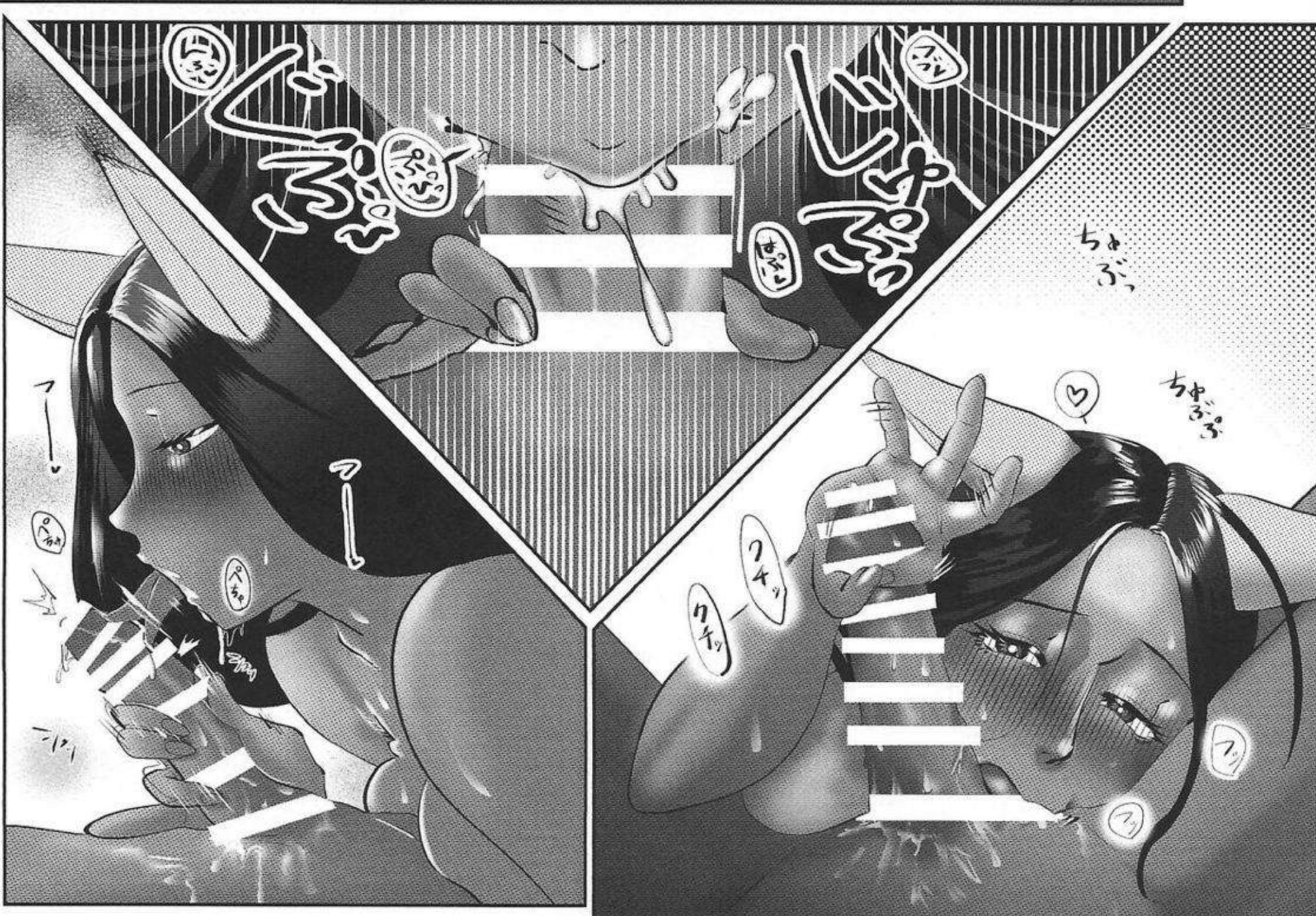
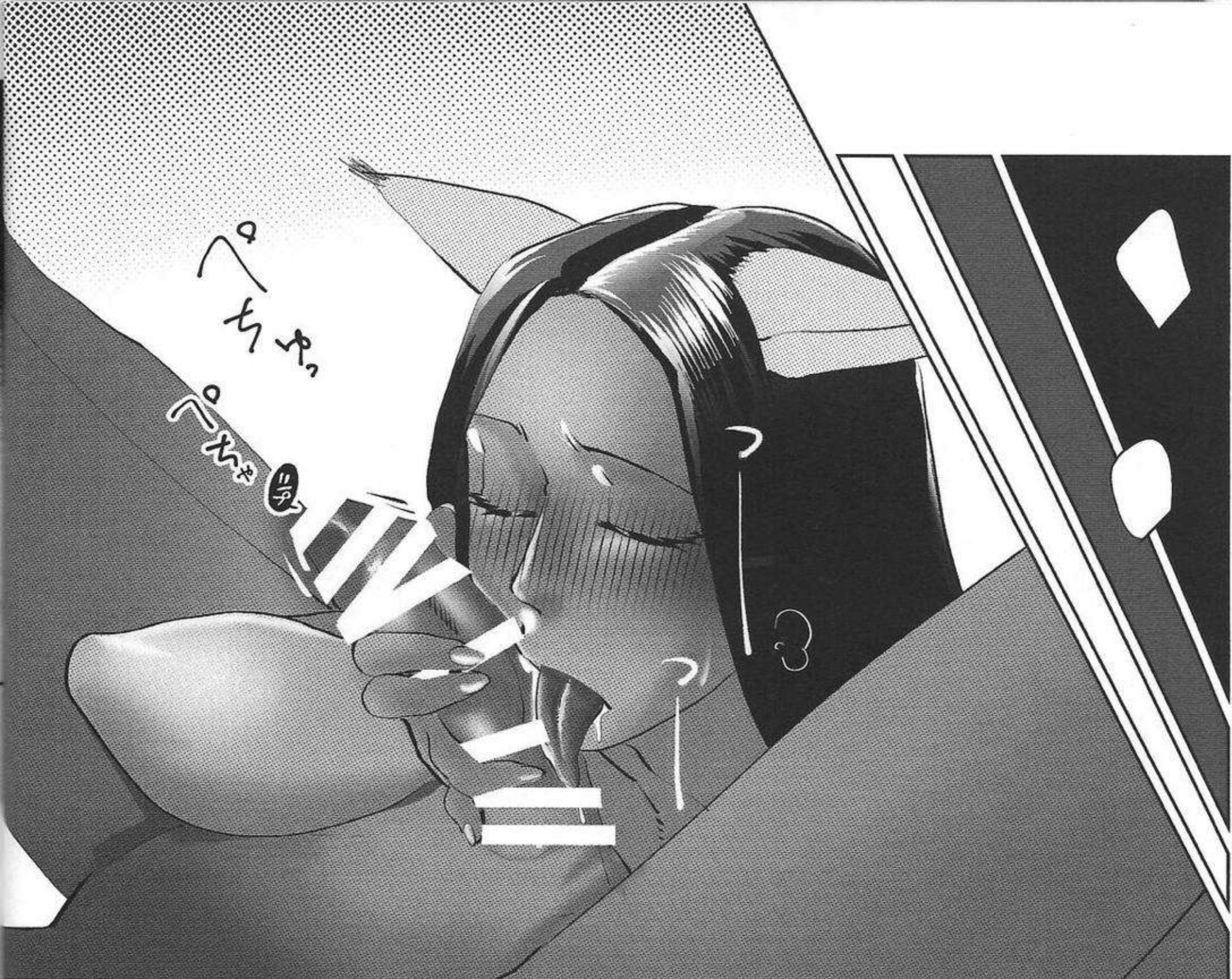


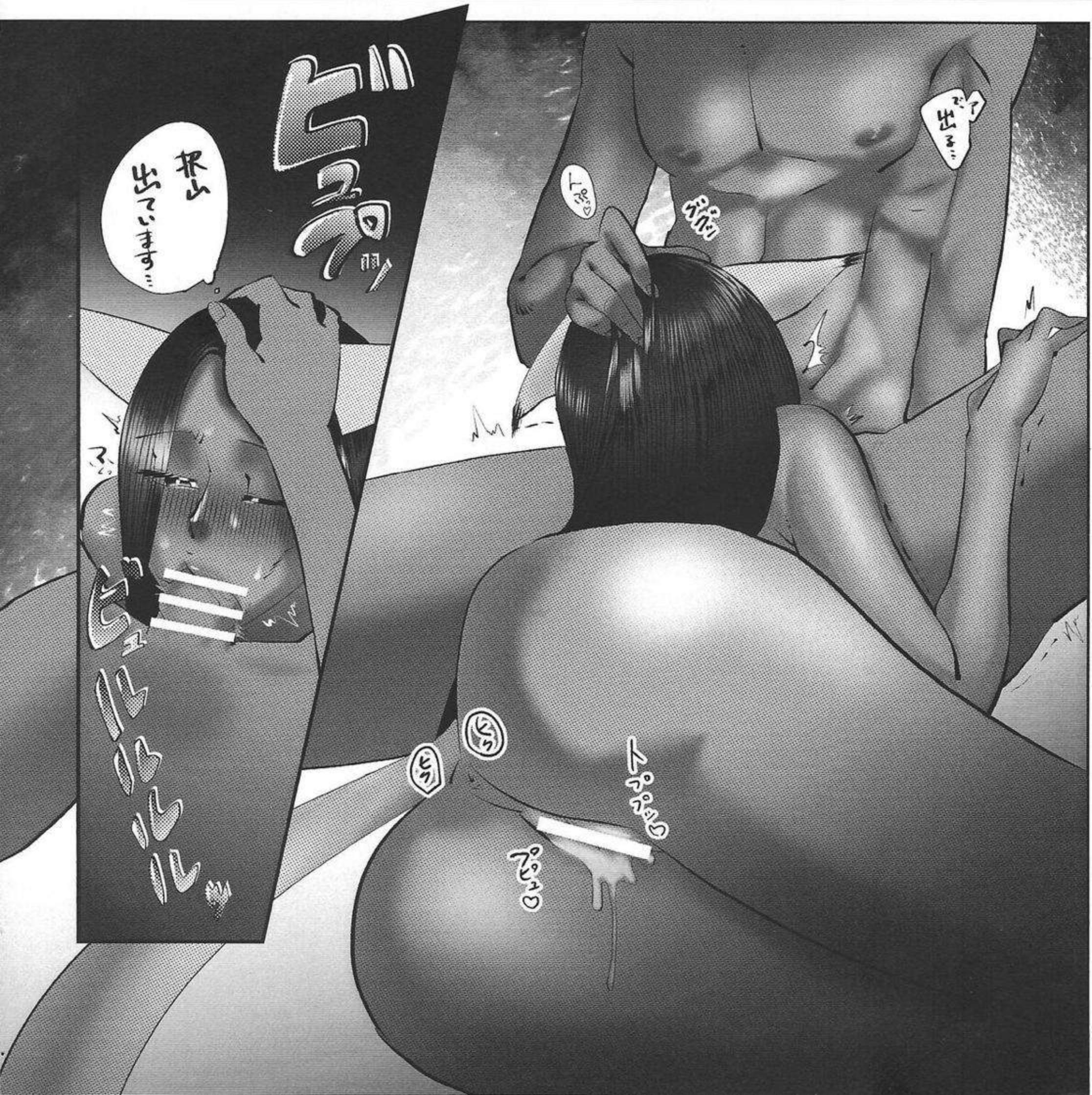


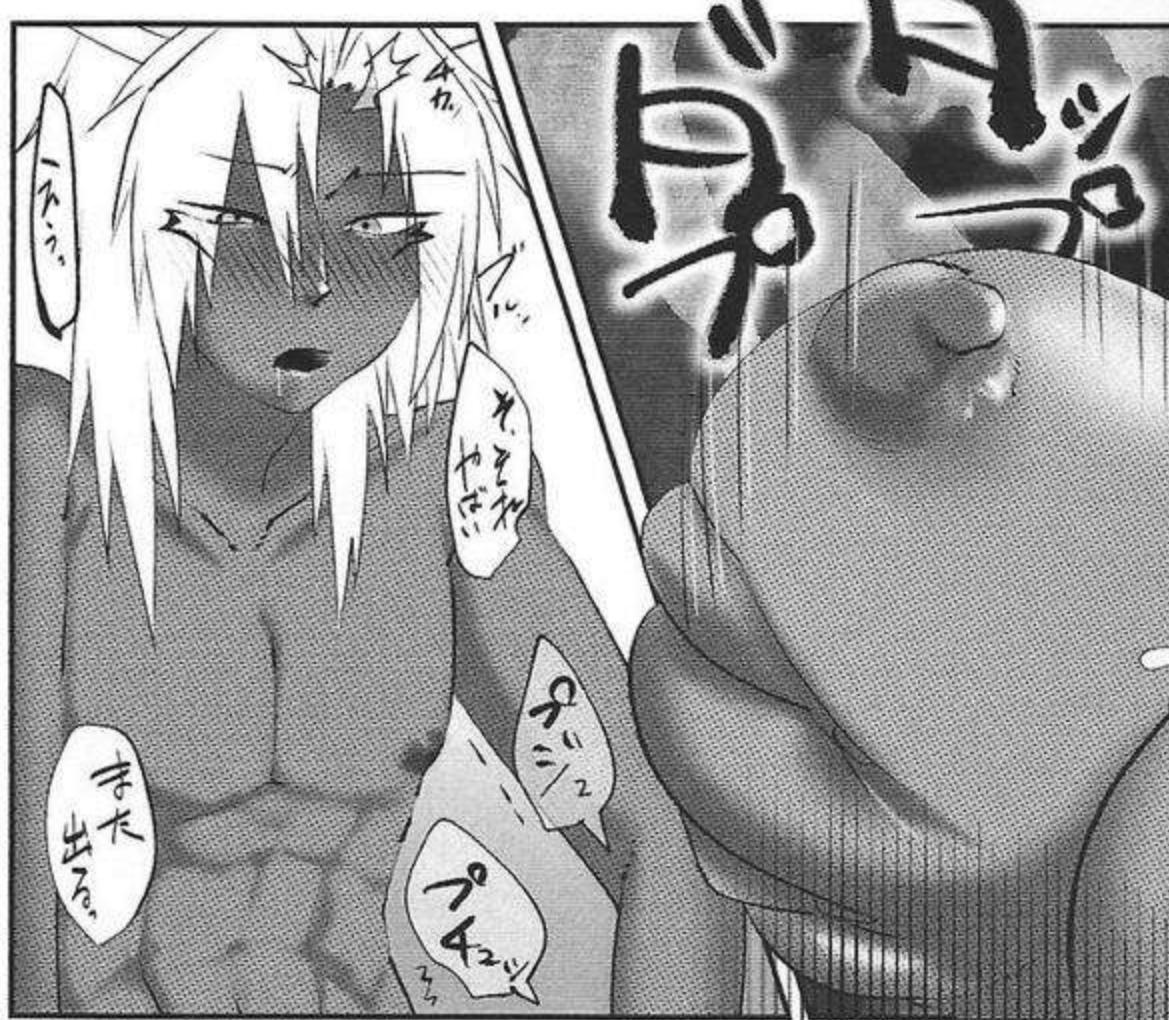
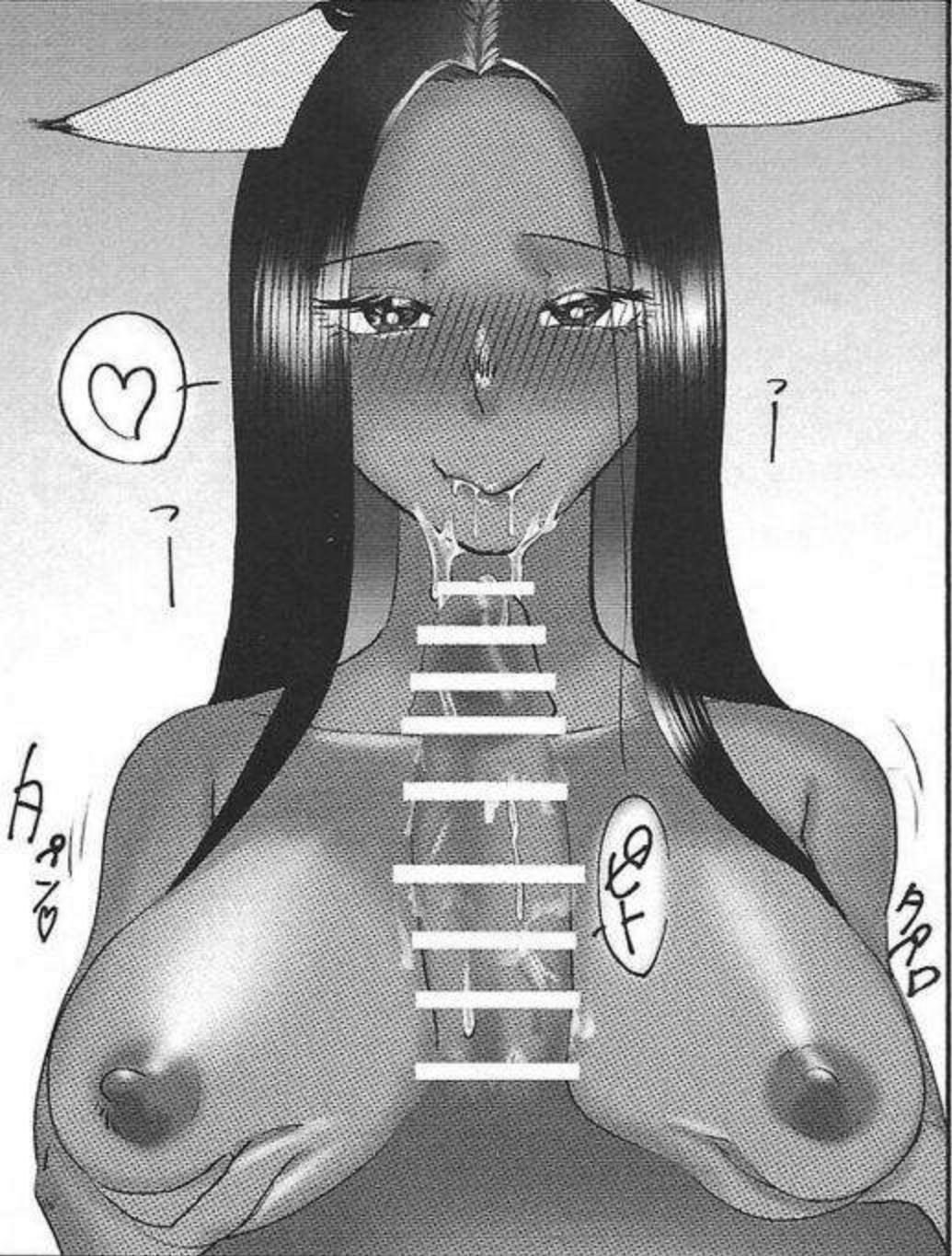
一度と  
離れる事が  
無いように…

壊れるほど強く  
抱きしめて下さい

ニ



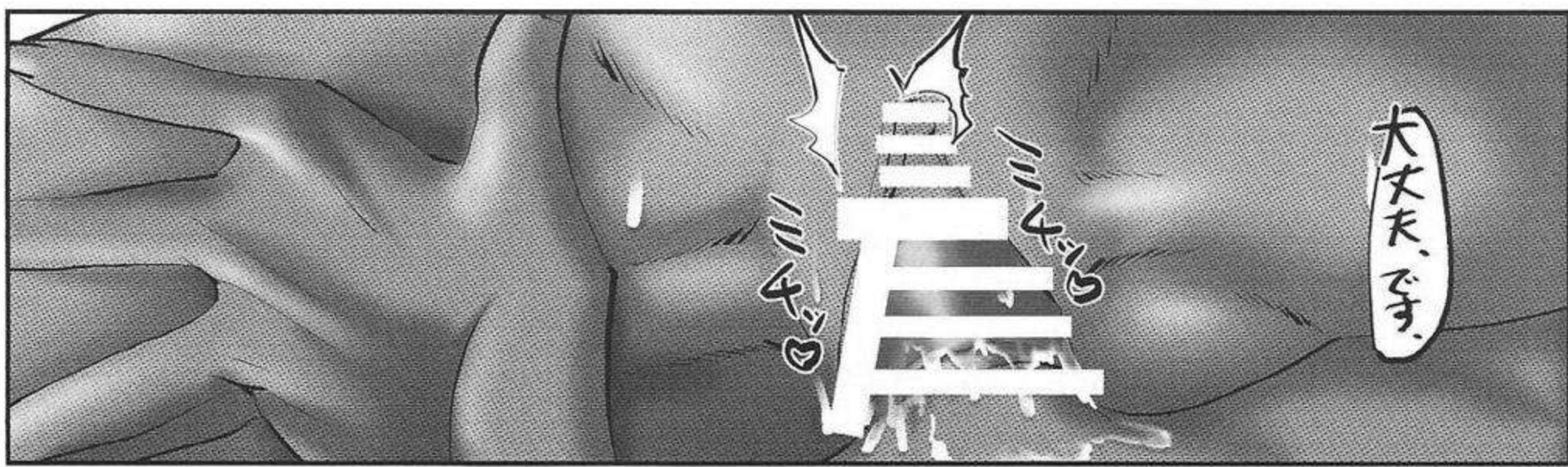


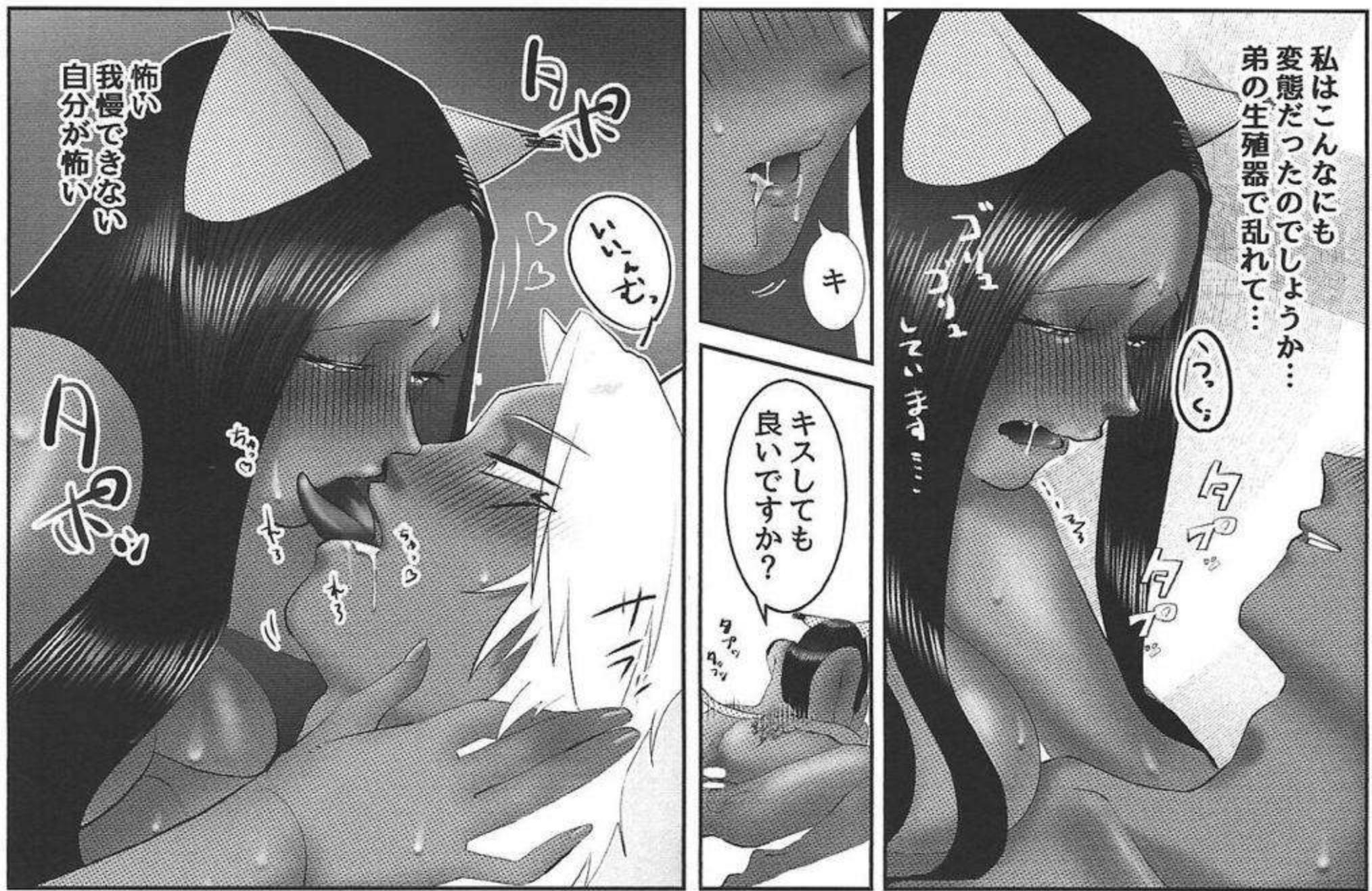
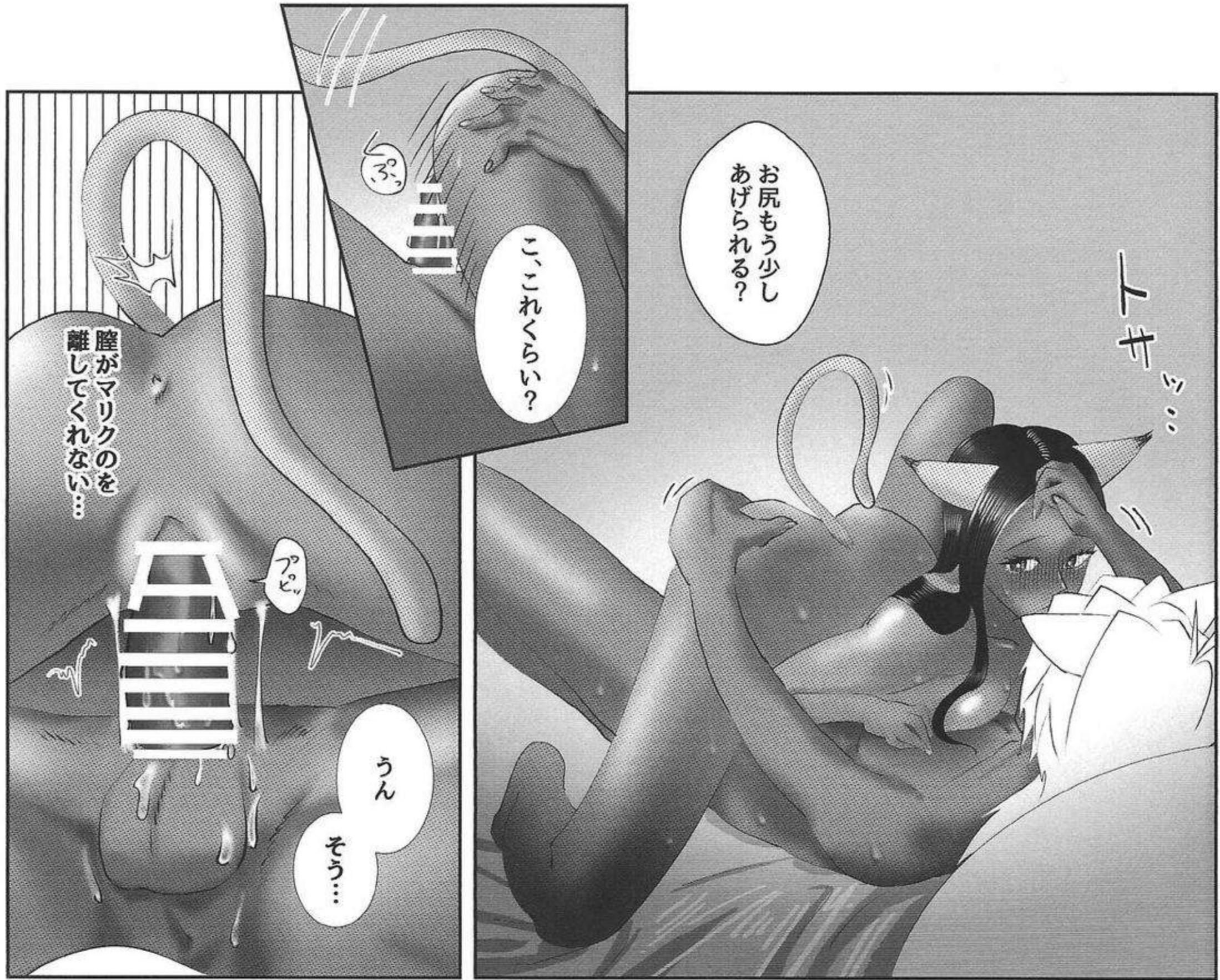


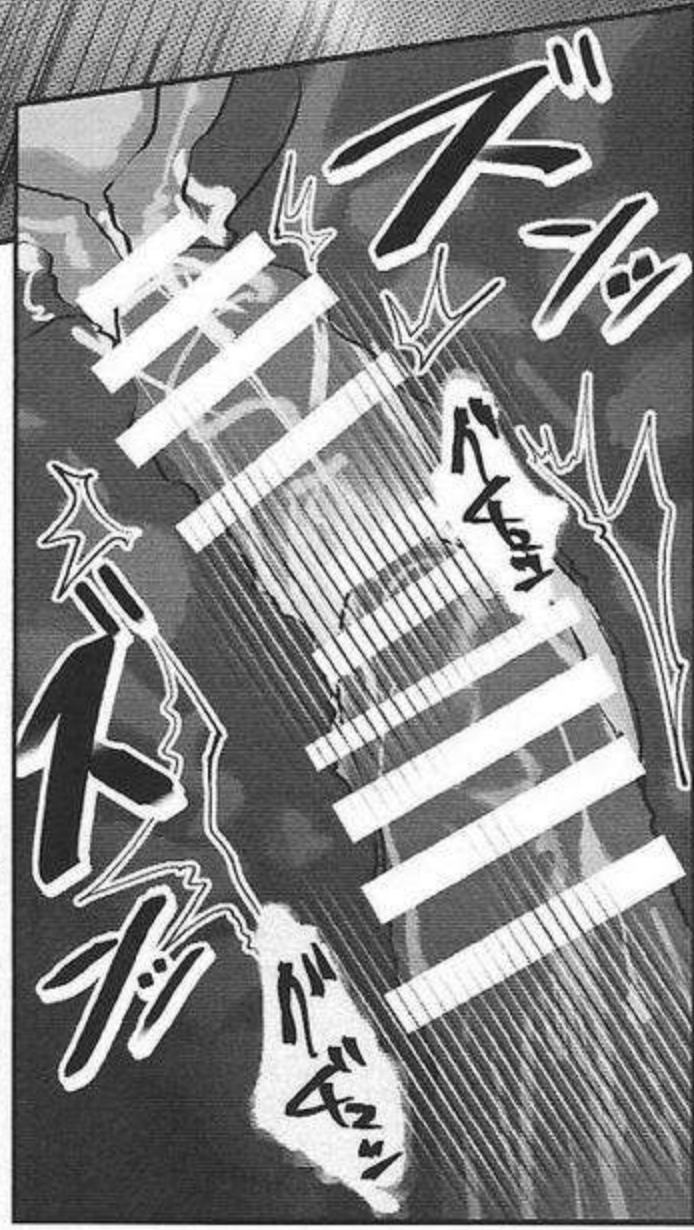




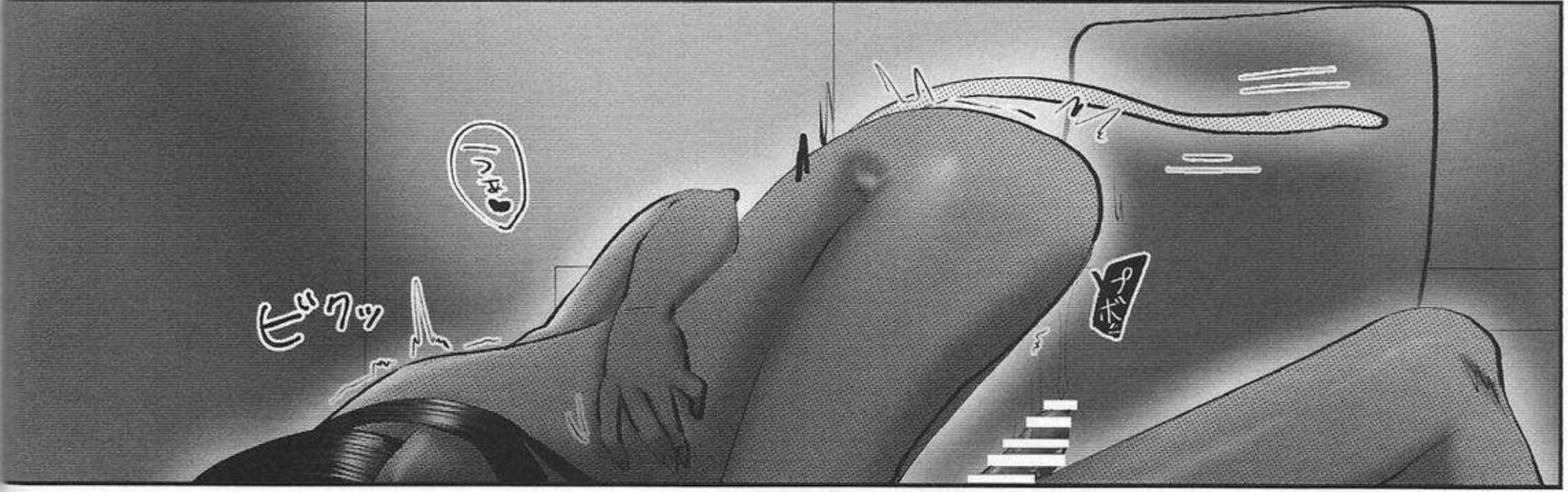


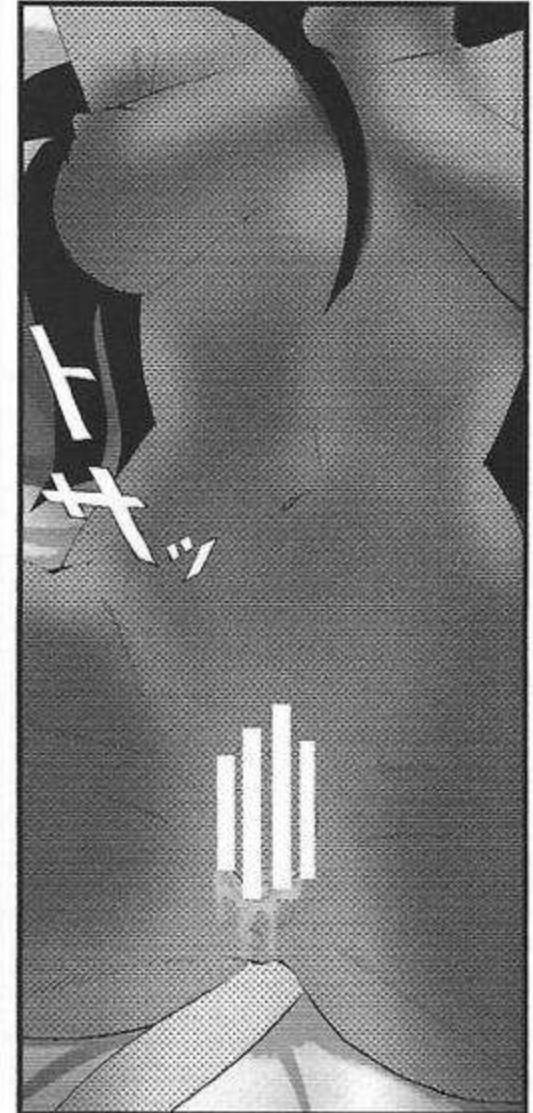


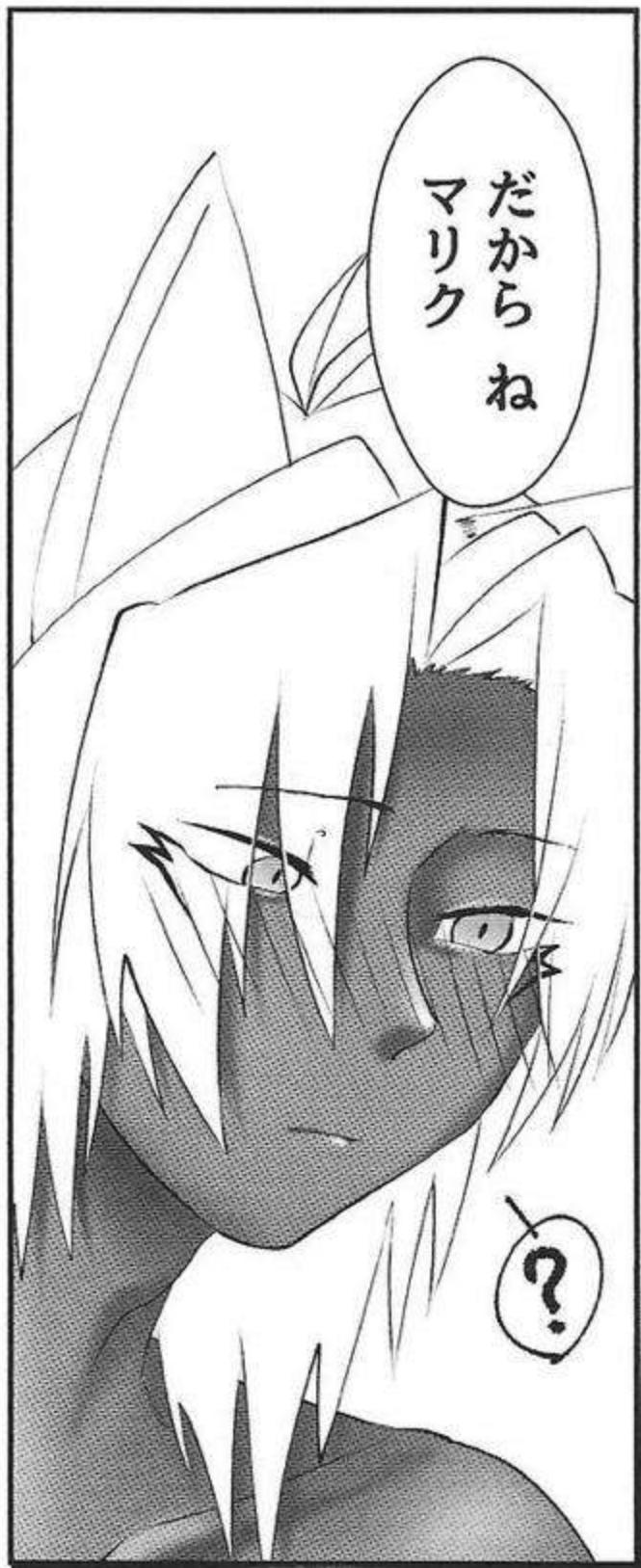


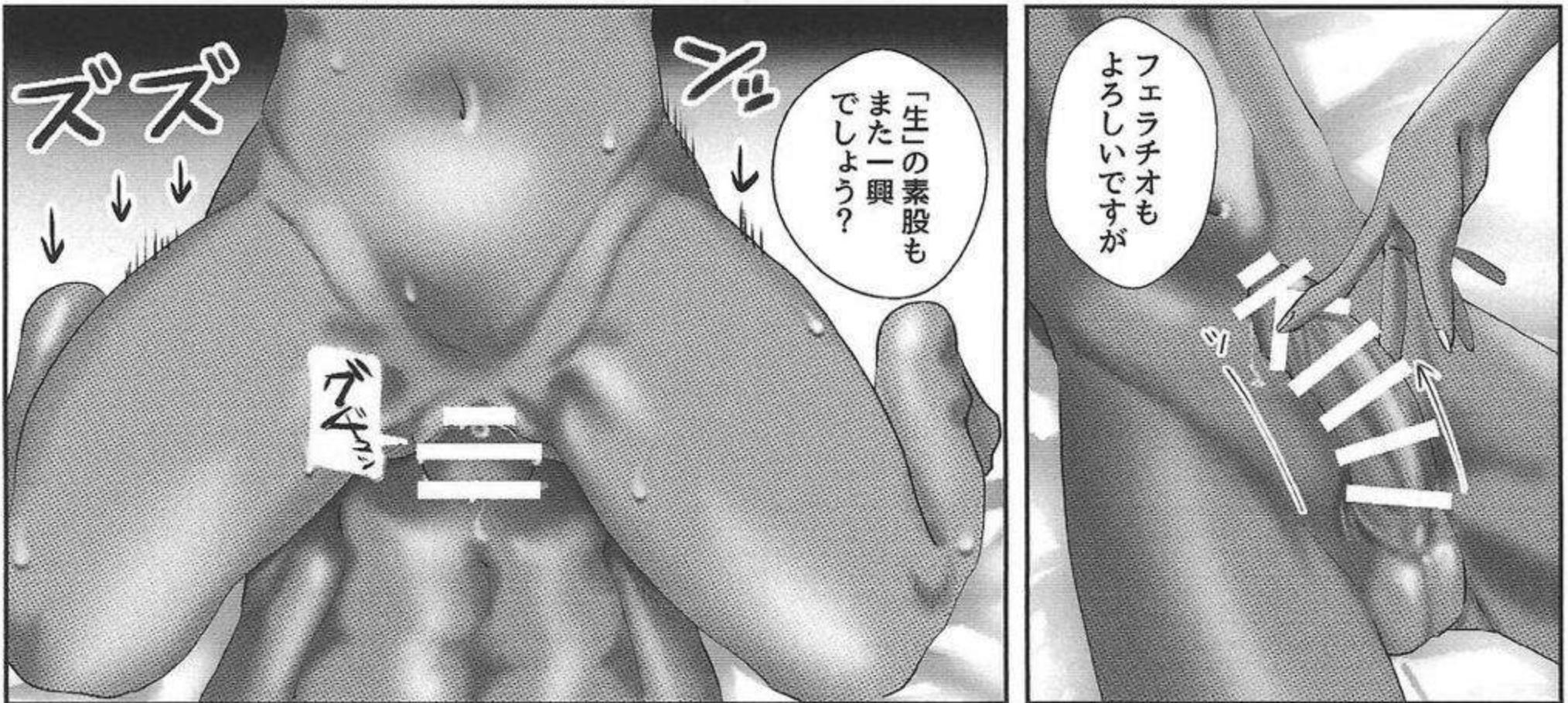






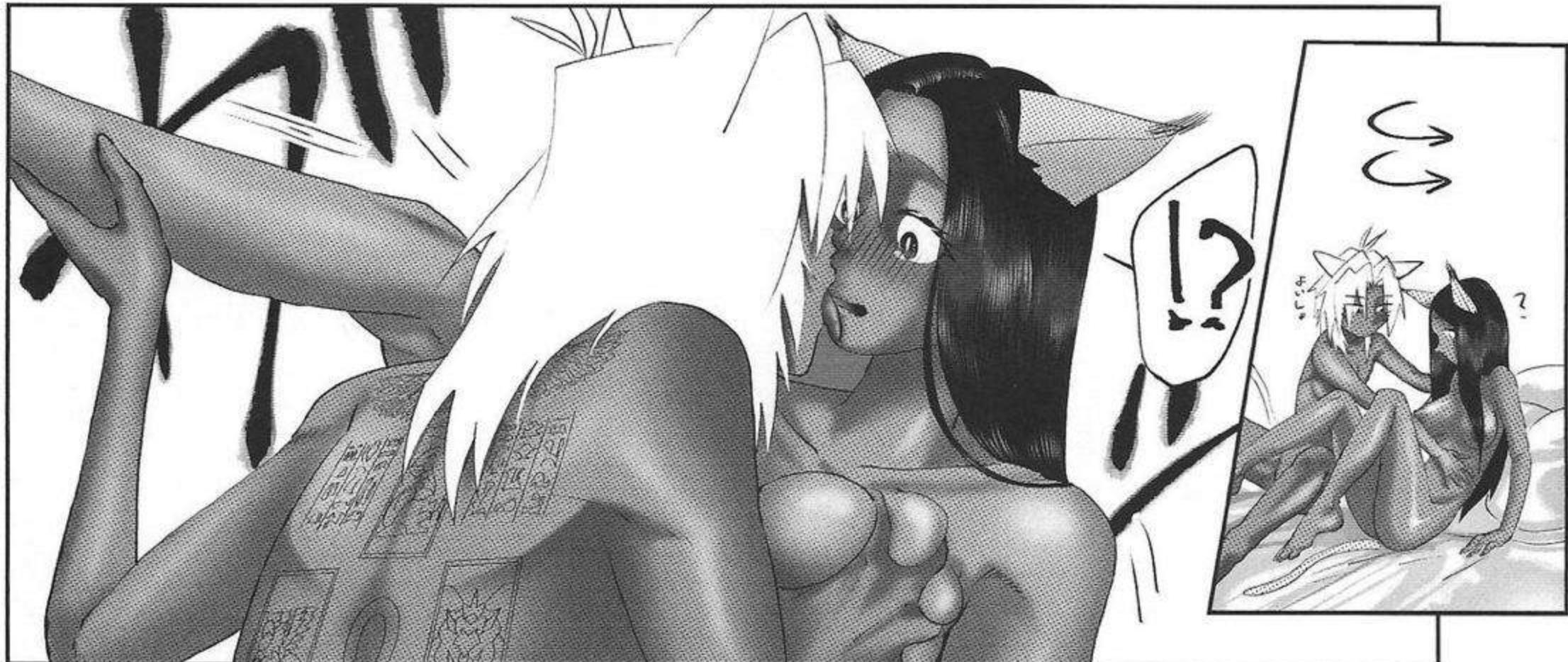




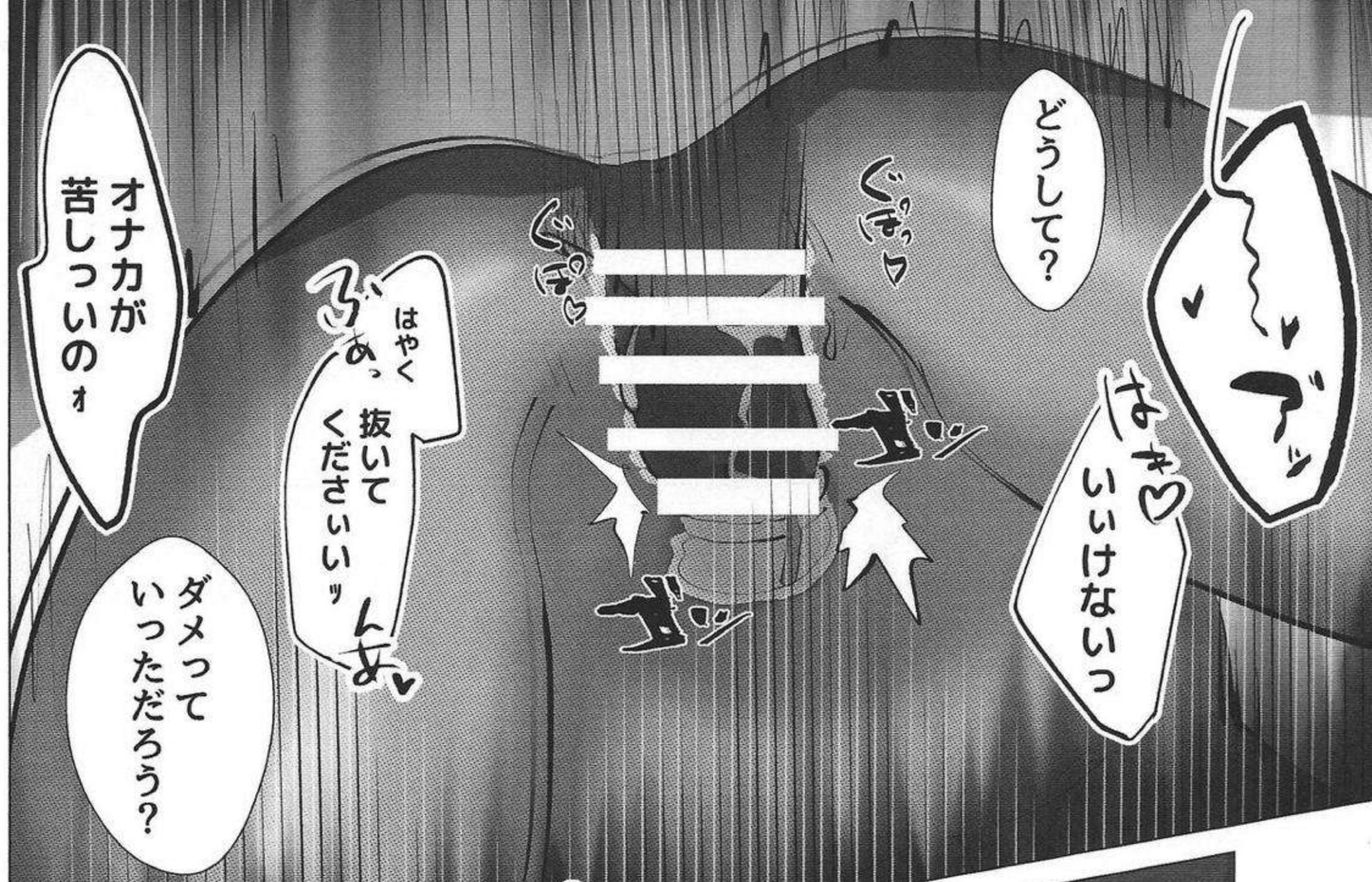
















ああでも  
僕はひどいやつで…

思っていないさ…

あんなこと  
したのに

そうやつで  
僕に甘くて  
いつだつて優しい  
自覚はない  
みたいだけど…

スリリ  
スリリ

ああそうさ！  
僕は姉さんとずっと  
こうしたかつたさ

でも、でもさ!!  
僕らは姉弟で姉さんには  
僕より相応しいやつと  
幸せになるべきなんだよ!!

姉さんと  
付き合いたかつたし  
これまで潰してしまつた  
時間を取り戻したかつたさ

!!  
ごめん  
言い過ぎた…

だめだ、気持が  
抑えられない…!!

では  
この行為は  
なんなのですか？  
偽善なのですか？

マリクは  
私を一人の女性として  
見られない  
ということですか？

違うのでしょうか？  
だつて偽善ならば

そんな泣き顔なんて  
見せないものね

優しい子

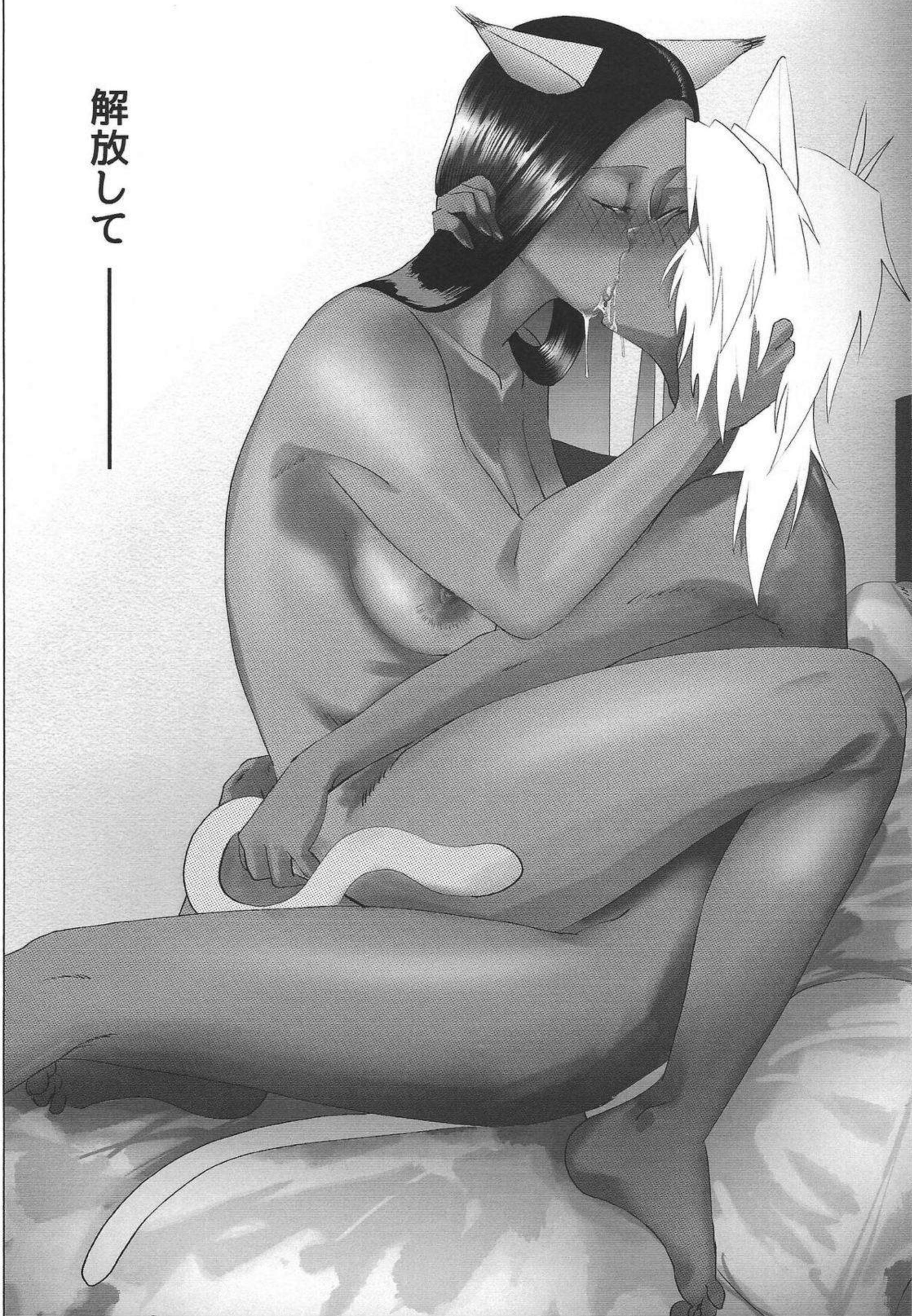
おいで

気持ちは十分  
解り合えたの  
ですから

不器用な者同士  
不器用なりに  
愛し合いましょう



解放して



ねえ

?

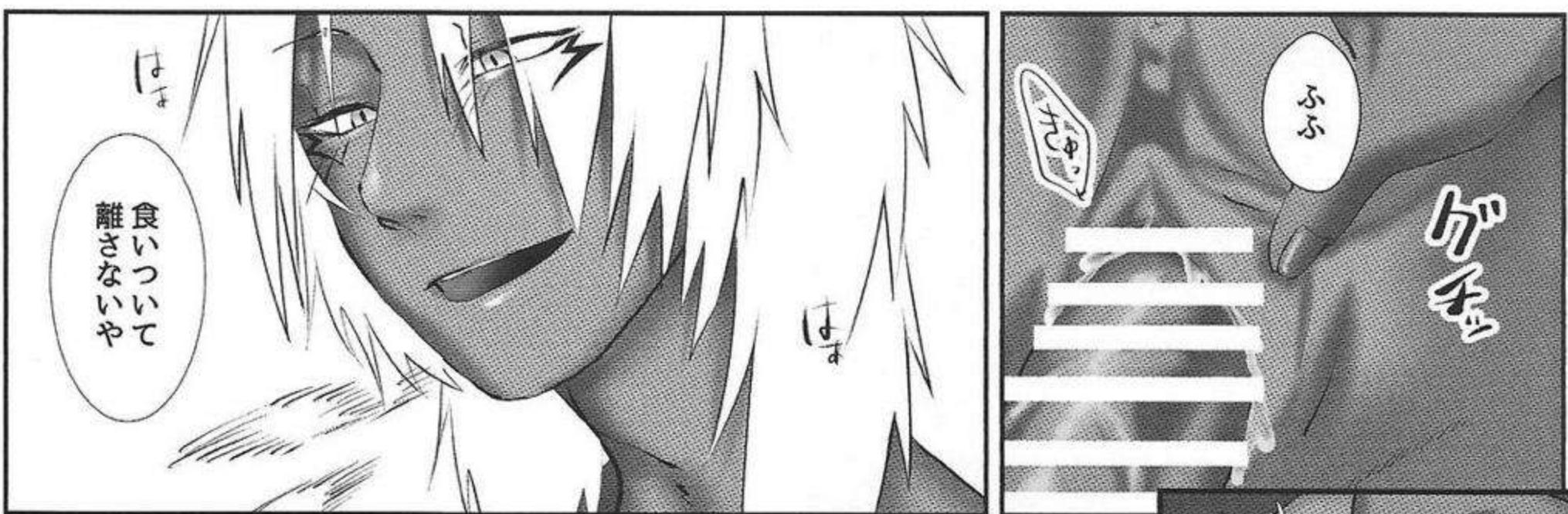
そろそろ  
出そう…

こちらの方がきつと  
やりやすいでしょう？

どうぞ

グ  
♪  
♪  
♪

ト  
ナ  
ン

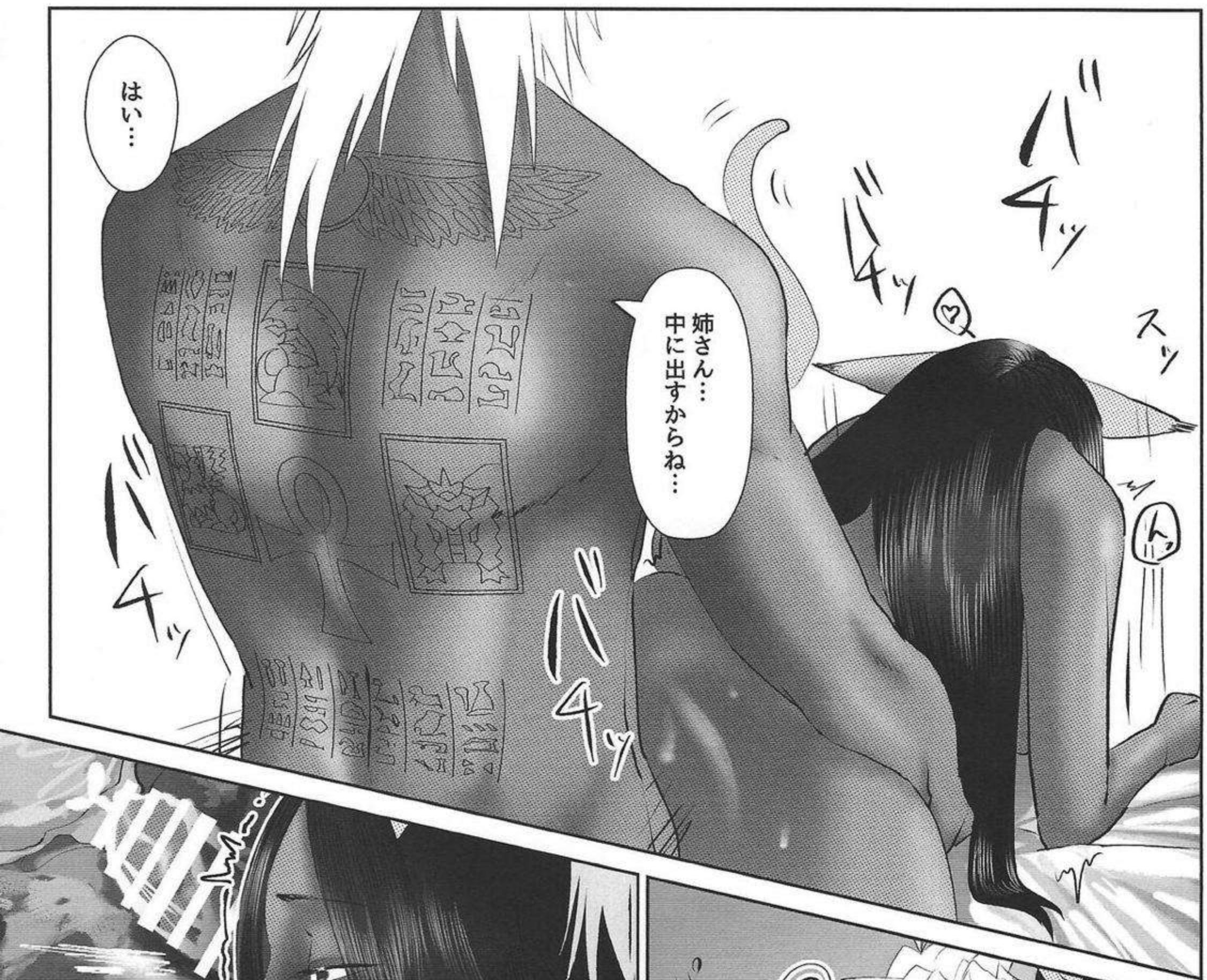




壊れないつよ…

マリクッ

大丈夫…すぐに  
楽になる、から…



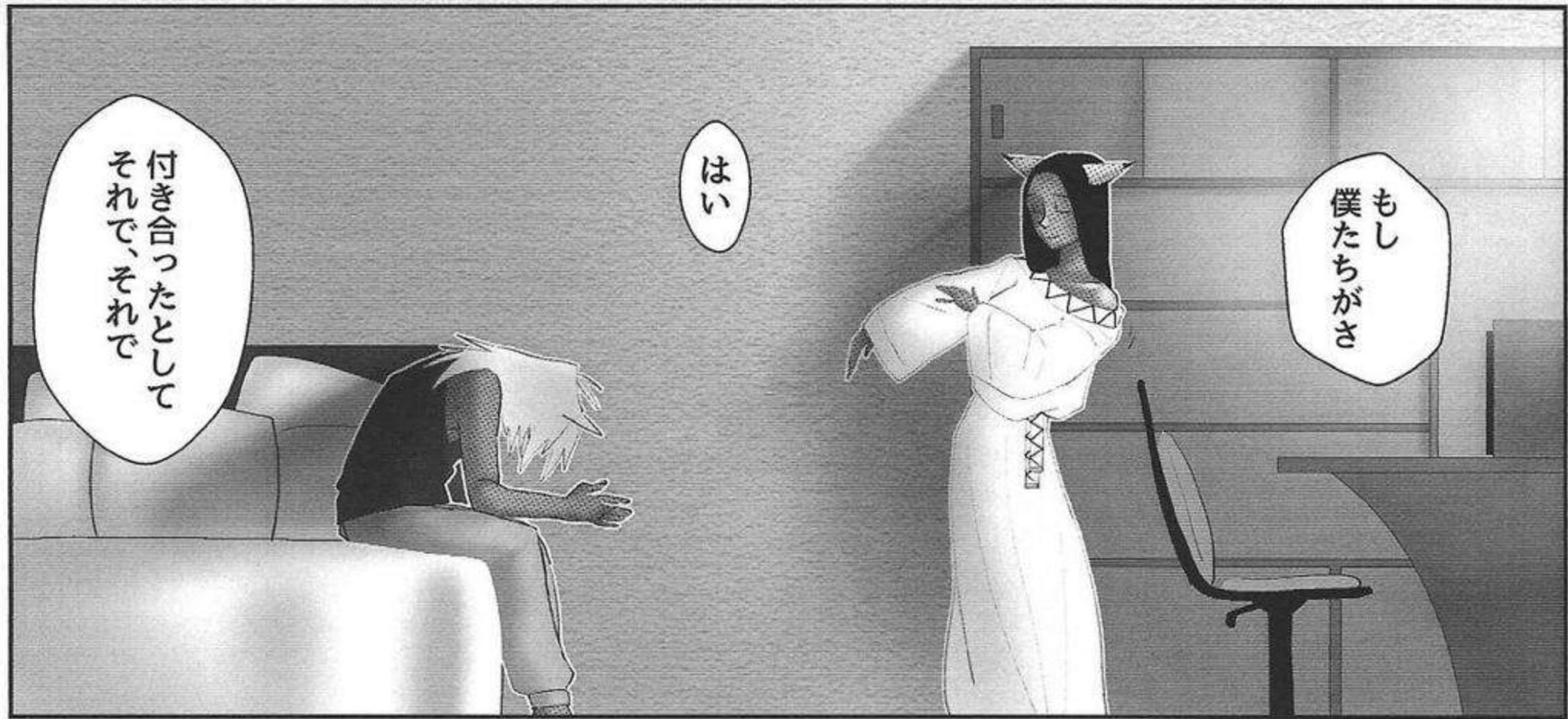






ねえ

なあに

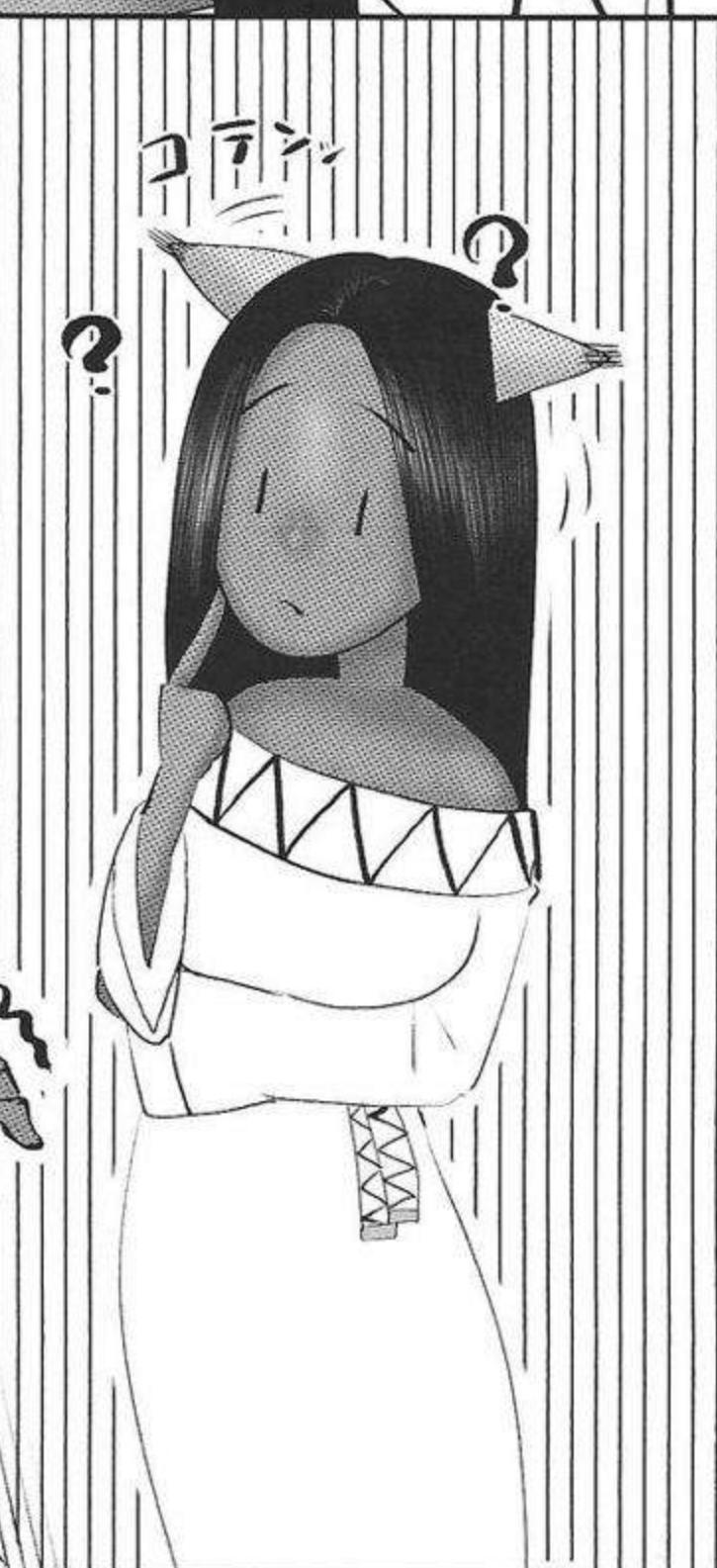


貴方が気にする  
必要はないのです

だつてこれは  
私と貴方のお話  
他人は関係ありません

マリク

姉さんは  
周りから怪異な  
目で見られるのとか…

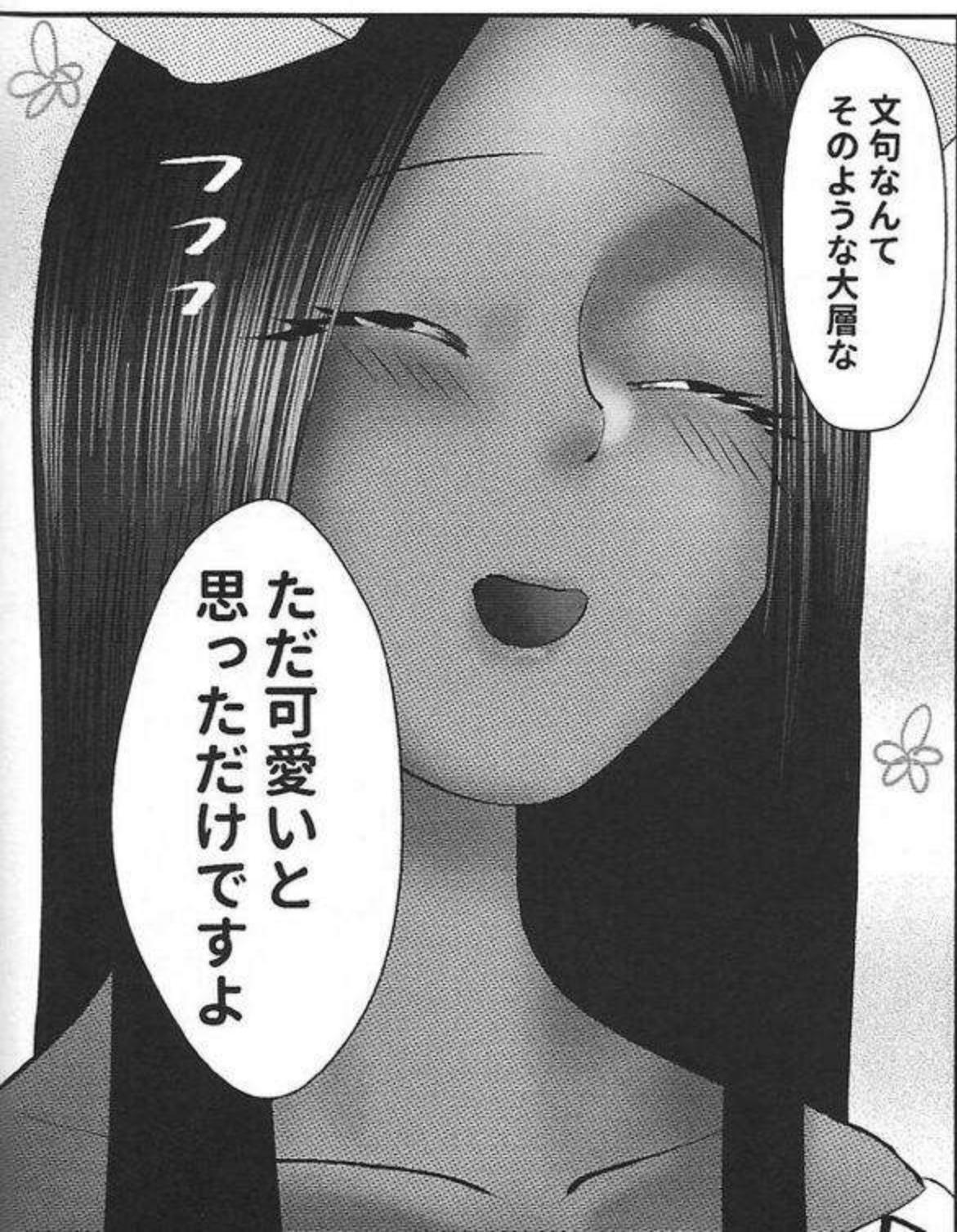


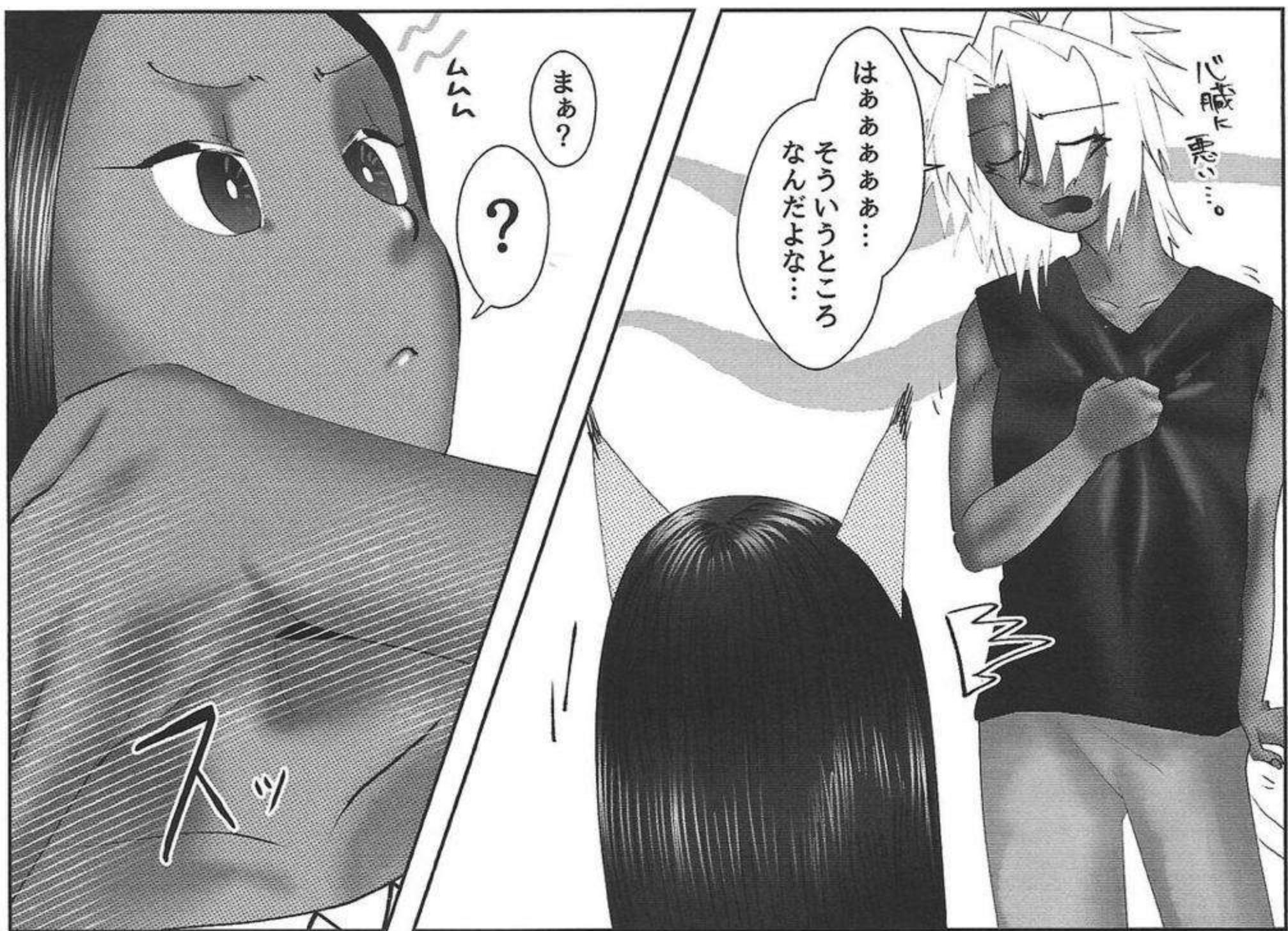


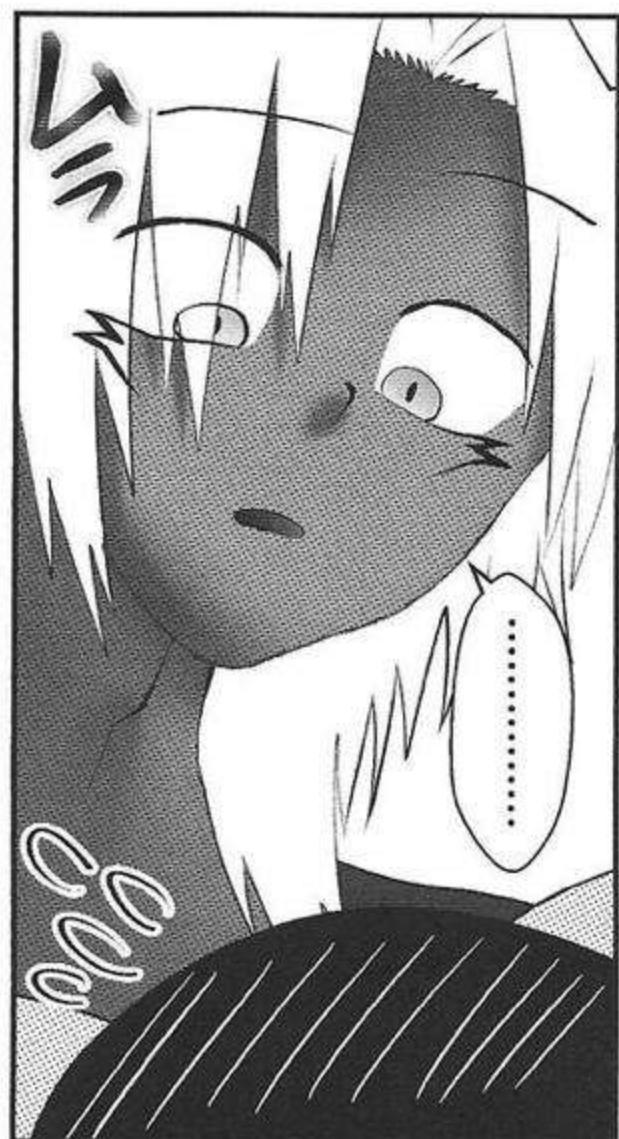
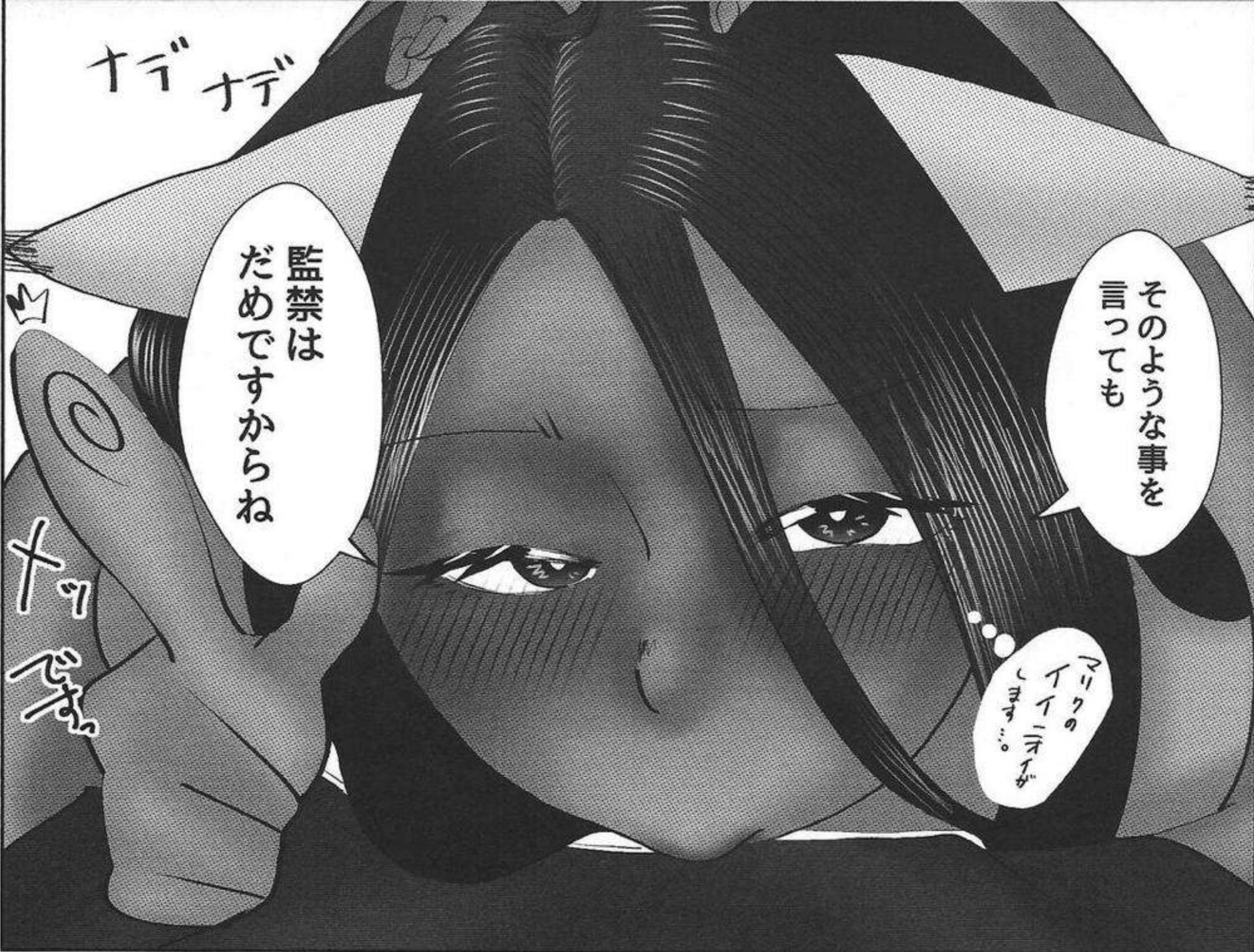
## A. 姉さんを監禁しよう!!!

そうだそれしかない!!!!









あ  
ま  
け



軽い設定で  
説明します



# 発情期が来ると どうなるの？

発熱状態になり意識が朦朧とし始めます。  
発汗もするため普段よりもフェロモンが蔓延し  
相性がいいと甘い匂いがする。

女性の場合はすぐに挿入できるよう  
膣が伸縮運動をし始めそれに応じて  
膣壁から高濃度の愛液が  
垂れ落ちる程排出されます。  
相手から多く精液をもらうため  
長時間の交尾に耐える体力配分が出来る

男性の場合は心拍数が徐々に上がっていき  
男性器に血を集中させるため  
そのほかの器官の能力が低下します。  
(例：頭の回転が性行為に全て向けられ  
相手が気絶していても  
交尾していることが多い。)  
一度の射精に3~4ml。  
多いと10ml出すと記録に残っている  
猫の名残で首元を噛む人もたまにいる  
(首元はフェロモンが高濃度で  
汗なども分泌されているため噛む人が多いとか)

今回の場合はイシズが発情を薬で  
抑制し続けていたため、通常の発情よりも  
倍に身体が反応し力が入らない状態で  
本当はマリクを押し倒して  
逆レイプしかねない状態でしたが  
鋼の理性によってうずくまっていました。



序盤から  
かっこいい感じすぎたので  
黒くつぶしました。



# パートナーが いないときは どうするの？

基本自慰行為で済みますが  
そればかりに頼ってしまうと  
身体に悪いので  
専門病院で処置されます。  
それと同時に  
条件に合ったパートナーを探してくれます。  
(ここ数年で猫人間による  
強姦が多発したため  
国が病院にかかるよう推奨しています)

今回のイシズさんは実のところ  
薬をもらいにいっていたら  
パートナーを紹介されるところでした。

間一髪で弟と交尾したため  
弟が発狂せず、周りに  
被害が出ずに済みました。  
よかったです。





告白されていいのか  
全部ひつてい子  
(エホモバッサリ)

## 日常生活・弟

マリクは通信教育を受けています  
友達もそこそこの外で遊んでいても  
帰宅時間はきちんと守ります。

とにかく姉さんが大好きで  
お姉さんのお迎えは可能な限り  
自分で向かっている

姉さんがお家にいないときは  
大体ドライブに行ってます。  
お家に居るときは  
勉強をさっさと終わらせ  
姉さんの周りにいます。

姉さんとのえっちは  
弟特権をフル活用し  
三～五回戦ほどやります  
「可愛くて逆らえないので…」姉談

## 日常生活・姉

お仕事熱心で男女ともに  
慕われているみんなのお姉さん

家に帰っても寝る前に勉強しているため  
睡眠時間がそこそこ短い。  
目の下にクマを作つて  
起きて来た時に家族に心配されたため  
最近は監視役(マリク)の目が光っている

マリクのことは家族としても  
恋人としても大好きで  
最近友達と遊んでいる  
マリクをみてはリシドと共に  
心温まっている

マリクとえっちしているときは  
お姉さんから普通の女の子になる  
「ギャップがすごいんだよ」弟談



定期的に猫カフェに  
行つては  
猫に  
(超)モテル  
(弟は遠くから  
うらやましいに  
見ていい子)

# 自宅設定

イシュタール家の  
自宅間取り図

細々は所は  
気にしない。

リビングの  
部屋

玄関

洗濯  
お風呂

キッチン

リビング  
の部屋

子供  
の部屋

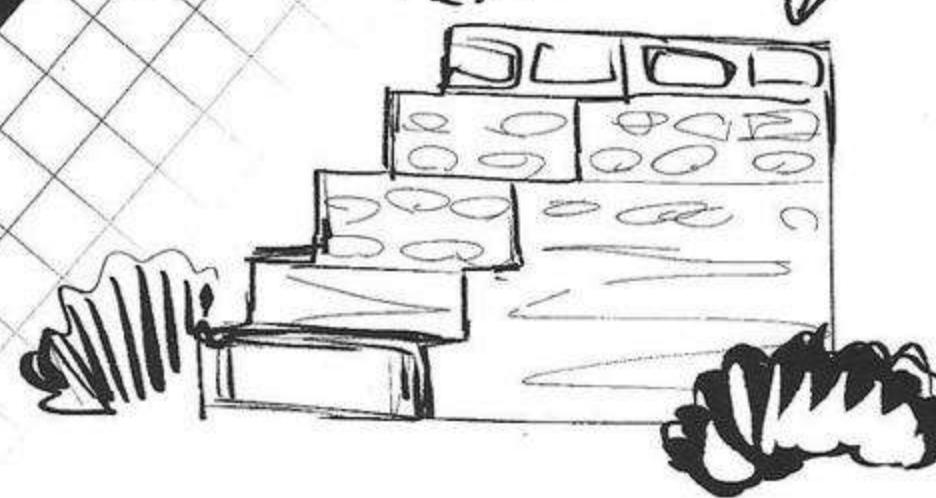
ベランダ

こんな感じの  
マンションのココ

一軒家に住まず  
あえてマンションにしました

今回は食卓と姉上の部屋のみでしたが  
全体としては上記間取り図のようになります。  
もう一軒家の方がいいんじゃないのってくらい  
ぎゅむぎゅむ詰め込んでいます。

マリクの部屋は風通りが悪い残念部屋



# 衣装設定

ほとんど裸か寝間着状態でしたが  
部屋着は左の図のような設定でした。

猫用の衣装を沢山考えたものの  
脱いでしまうのだから意味ないじゃん…

と空を見上げる始末でしたので  
供養の意味でものせてています。



本編でも見たかった  
本来ねこハスの人肉の耳部分は  
こくながいです。

耳はこう  
本編では  
付けてない  
らしいです。

なぜ猫耳なり尻尾を付けたのかはきっと可愛いんだろうと思ったからです(本当にそれだけ)

# あとがき

筆箱インザルームです。  
この度「至純なる想念」を手に取っていただき  
誠にありがとうございます。

幸せそうで温かぽかりなマリイシがみたいなど  
筆を進めていたらこんな感じになりました。

此処まで読んでくださりありがとうございました。

---

## 至純なる想念

発行日:2020/4/19  
発行:筆箱インザルーム(炭金魚)  
発行者:筆箱インザルーム  
印刷:ブックネクスト  
PixivID:3046337

ご意見ご感想はこちらまでお願いします。  
amari1431@yahoo.co.jp

※無断複製・転載、18歳未満の購入閲覧等禁止※



20200419

YU-GI-OH! Unofficial Fanbook  
feat. Mariku x Ishizu  
Presented by Sumikingyo

ISHIZU ISHTAR



2020.4.19